

平成30年度 学校自己評価システムシート (県立川越西高等学校)

目指す学校像	学力の向上、豊かな人間性の育成、健康の増進・体力の向上による高い自己形成を目指すとともに、地域との連携により信頼を確保する。
--------	--

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 基礎・基本の定着と学習意欲の高揚により学力の向上を図る。 規律と品位のある学校生活を送らせる。 進路意識の早期確立と進路実現を目指した組織的・計画的な進路指導の推進。 近隣小学校・中学校・高校・大学等、諸機関・地域等との連携の拡大。
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	7名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	6名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価							
年度目標				年度評価(1月28日現在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	授業態度は落ち着いている。基礎学力の定着が課題であり、学力のばらつきも見受けられる。学習時間は増加傾向にあるものの、学習意欲の向上と、家庭学習の習慣化が課題である。	学力を向上させるために、家庭学習を習慣化させていく。	<ol style="list-style-type: none"> 授業時間の確保・授業重視を徹底する。小テストの実施・課題等の与え方を工夫し、家庭学習を身につけさせる。 漢検・英検・PC検定などの受検者を増加させることを通じて、学習意欲の向上につなげ、進路意識の向上にもつなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業理解度が向上したか。 家庭学習の時間が増加したか。 各種検定の受検者や合格者が増加したか。 	授業における働きかけを恒常的に行った結果、授業理解度の伸びは前年度並みであり、家庭学習の時間もやや増加している。 図書館の貸し出し数が昨年度比3割増となった。学習意欲の向上が見られている。 英語検定の受検者は13名増加した。授業等の声かけが奏功している。	A	家庭学習の時間をさらに増加させる必要があり、授業力の向上が課題となっている。 各種検定の受検者は伸びてきており、大学入試改革を見据えて引き続き指導していきたい。
2	個々の生徒に対応したきめ細やかな指導により、基本的生活習慣の定着が進んでいる。自主性を育む必要がある。社会の一員としての規範意識向上を図り、防犯意識、交通マナー等についても指導を充実させる。	基本的生活習慣を確立させる。自主性を育む。規範意識・防犯意識・交通安全意識を向上させる。	<ol style="list-style-type: none"> 校門立哨指導の継続、定期的な整容指導、声かけの実施。 Q-Uの分析結果の活用、SC、SSWの活用を通して、教育相談の充実を図る。 学校行事や部活動・委員会活動に主体的に責任を持って参加させる。 地域の小中学校、自治会等との情報共有・連携を継続する。 集会・上映・配布物を利用した交通安全やマナー指導の徹底。 	<ul style="list-style-type: none"> 整容指導対象者・遅刻者が減少したか。 支援委員会との連携で各種リソースの利用が増加したか。 生徒が主体的・自主的に行事に取り組む姿が見られたか。 不審者情報の迅速な共有ができたか。 交通事故や苦情件数が減少したか。 	生徒指導及び整容指導の対象者数は減少している。 支援が必要な生徒については保健室とも連携を図り、スムーズな支援に結びついている。普段からの生徒観察等により、遅滞なく支援できている。 生徒の主体性を育てる指導は実施できた。文化祭の来校者数も昨年並みである。 不審者情報は小中学校と迅速に情報共有を行うとともに、笠幡駅・川越駅とも連携を図ることができた。 近隣から善行に関する情報も寄せられるようになってきた。	A	生徒の自主性を育むため、引き続き指導を工夫していく必要がある。交通のマナーについて今後も指導を重ねていきたい。
3	進路に向けた早い段階からの計画的・継続的な指導が課題である。また、保護者啓発のため、進路に関する情報提供を積極的に行っていくことも急務である。	生徒一人一人の進路希望の実現。進学実績と就職実績の向上。	<ol style="list-style-type: none"> 教務部及び各教科と連携して、授業や課外補習を充実させる。 1・2年生の進学模試や公務員模試・講習会、合格体験を語る会への参加を増加させる。 保護者対象進路説明会の拡充と情報提供回数の増加。 生徒の実情に合わせたきめ細かな指導を実施するための研修会等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1志望校への合格者増加。一般入試合格者の増加。 各種模試、講習会、合格体験を語る会への参加者の増加。 進路説明会への保護者の参加数増加。 教員向け研修を開催できたか。 	推薦・AO入試の合格率は79%であり、就職希望者の内定率は100%となっている。 保護者の説明会参加者は109名、資料収集のみの参加者を含め、意識の向上が図られた。 教員向け研修会は1学期に実施することができた。	A	大学入試改革における保護者への情報提供は必須であり、あわせて生徒に対する志望校の選定、面接指導などの確かな進路指導を引き続き実施することが必要である。 入学初年度からの進路指導をさらに充実させていくことが課題である。
4	地域住民・小中学校など関係機関と活発な交流が行われている。引き続き地域や家庭向けに積極的な情報発信を行い、信頼関係を確立している。HP等、広報活動の一層の充実を図りたい。	地域・家庭との連携強化	<ol style="list-style-type: none"> 近隣小学校へのスポーツや学習指導への生徒派遣。 中学生向けの体験授業 PTA・地域との連携による巡回指導、防犯活動。 地域行事への参加と交流 	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校との連携が常に図られているか。各事業への恒常的な参加者確保ができているか。 防犯活動へのPTAの参加が増加しているか。 	バスケット指導、ソフトボール投げ指導は昨年並みに実施できたが、夏休みの宿題の手伝いは猛暑の影響で中止となってしまったのが残念である。 防犯活動に協力してくれている保護者は参加数が確保されている。	A	本校の目の前に西公民館が完成するので、地域との交流をさらに充実させていきたい。
		情報の発信	<ol style="list-style-type: none"> HPによる広報の充実 不審者情報や安全情報等のメール配信 	<ul style="list-style-type: none"> HP更新回数、閲覧者数、メール配信登録者数が増加しているか。 	HP更新は197回、閲覧数は10万回に達した。保護者のメール登録者数は8割を超えている。	B	メール配信のさらなる有効活用について研究していきたい。

学校関係者評価	
実施日	平成31年1月28日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>「よりよくするアンケート」の結果を見ると、学校へのよい評価が多いことは素晴らしいと感じている。芸術鑑賞会は、音大を呼ぶ等、できれば毎年続けてはどうか。オリンピックへ向けて、英会話で道案内等のボランティアを奨励してもらおうとよい。</p>	
<p>笠幡駅にロータリーが完成するので、人の流れが変わる。生徒さんへの通行に対してご指導いただきたい。支援が必要な生徒について、学校が対応していることを生徒にさらに知らしめてほしい。通学している生徒さんのマナーがよくなってきているのは自治会としてもありがたい。</p>	
<p>生徒が落ち着いて生活できている姿を見て取ることができる。そのことが進路の結果に結びついていると感じられる。引き続きご指導願いたい。</p>	
<p>部活動の合同練習等、生徒さんに引き続きご指導いただきたい。学校前に完成する「西公民館」を積極的に活用してもらい、地域の活性化に役立ててほしい。</p>	